



湾岸・アラビア半島地域ニュース

オマーン：経済政策動向

(1月4日付オブザーバー紙)

3日、マッキー国家経済大臣兼財務・エネルギー評議会副会長は、2009年予算発表の記者会見で以下の発言をしている。

1. 新税導入

(マッキー大臣は、石油価格の下落に伴う歳入減を補完する目的で個人所得税を導入する計画の有無を問う質問に対し) 近々に新たな税を導入する計画はない。一步、GCC 関税同盟によって生じた関税収入の減少分を補完する目的で、GCC 全体として付加価値税 (VAT) 導入を検討中である。あくまでも GCC 全体としてであり、国毎に検討しているわけではない。

2. 鉄道建設計画

オマーン国内に鉄道網を建設する計画が政府によって進められている。計画第一弾となるソハール バルカ路線 (バーチナ鉄道) に関し、現在コンサルタントが調査中である。最終的には GCC 鉄道網にリンクさせることを目標としている。

3. 精油所建設計画

製油能力 30~40 万 bpd 規模の大型精油所及びそれに隣接したポリプロピレン事業並びに石油化学薬品事業複数からなる下流事業の開発をドゥクムに計画している。

4. 観光分野

観光分野の GDP 貢献率は、2007 年の 1% から 2008 年には 3% に増大した。一層の観光促進キャンペーンを行う。